

RNNが発足して16年の歩みの中で、ほぼ毎月続けて開催している定例会。4、5人から多いときで約20人にもなりま
す。われわれに何ができるのか、教団・宗派の枠を超えて協働できること
は何か、互いにサポート
できることは？ 難しい
話題ながらアットホーム
な雰囲気、2時間ほど、
長引くときは4時間に及
ぶ話し合いの場をもって
います。

今回、RNNボランティア講座を28日午後3時から、神道山黒住教本部（岡山市北区尾上）を会場に開催します。メインテーマは「災害時に被災地が必要とされる宗教者とは」。

第1部は、国際医療ボランティアAMDAの菅波茂代表の基調講演。被災地で求められる人として、宗教者としての活動の可能性などをお話しいただく予定です。第2部は、黒住宗道RNN事務局長（黒住教）がコーディネーターとなり、私（天

我々のできること

台宗）、川本浩司副委員長（立正佼成会）、杉本健志委員（金光教）、宮本龍門委員（真言宗）のRNNメンバーと菅波代表のシンポジウムを予定しています。

これまでもRNNとしてさまざまな活動を行ってきました。今回はさらに、宗教者や信仰を持つ方々のみならず、一人でも多くの方の心に添い、被災地はよそごと、人ごとでなく、身内や身近な事象だと一人一人が捉える一助となればと願い、開催します。

誰かのための行動は、他人だけでなく自分の家族・子孫のための礎であり、規範となることに気づいていただきたいと思います。思いは祈りとなり、祈りは行動となり、行動は救いとなるために……
地域・国・民族・宗教などの枠を超え、人として共に生き、働きましよう。

今回のキーワードは「共生」。

RNN(人道援助宗教NGO
ネットワーク)委員長

永宗 幸信

一 日 一 題